



会派みどり
山本 正信

農政部と経済部の統合による成果について

【質問】 前田市政の1期目の公約として農政部を復活させ、2期目には再び統合して産業振興部となったが、その成果と課題について伺う。

【答弁】 基幹産業である農業を基軸とした農商工連携を一層強化し、農業の法人化や農業分野で雇用創出を目指し、企業誘致につなげたなどの思いから統合しました。

近年の成果としては、株式会社夕張ツムラや株式会社松尾めん羊牧場のほか、ワイン製造に向けてブドウ栽培を始めた株式会社そらぶちファームの参入、ICT農業の実証試験などが挙げられます。さまざまな効果が生まれてきていることから、今後も現状の体制を維持していきたいと考えています。

営農指導体制について

【質問】 市として過去には営農振興

室を設置していたが、現在はたきかわ農業協同組合の対応となっている。

近年、再び農業を取り巻く環境は厳格化してきている。

江部乙地区の丘陵地帯の畑作は、ナタネ・小麦・豆類・雑穀で輪作し、特にナタネは全国的に過剰気味のため、売れるナタネへの品種転換が求められています。

たきかわ農業協同組合で普及員の退職者を雇用し、営農指導・品種転換の研究をする計画があると聞いているが、当市としての対応を伺います。

【答弁】 普及員の退職者の雇用に向けて、たきかわ農業協同組合から滝川市、芦別市、赤平市の3市に對して、人件費の支援の要望があり3市で協議しましたが、いずれの市も他団体職員の人件費を補助した例はなく制度的にも困難であり、財政支援はできないと回答したところ です。

また、本市では、財政的に普及員の退職者の直接雇用はできない状況です。



会派清新
水口 典一

第1期総合戦略について

【質問】 国は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したが、第1期の最終年度になり、市長としての所感を伺う。

【答弁】 総合戦略では、人口減少の克服と地方創生の推進に向けて、東京一極集中の是正や若者の地方における就労機会の確保などにより、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環が目指されてきたところです。

一方で、地方における人口減少と、人口減少に起因する働き手不足による地域経済の縮小という負のスパイラルには歯止めがかかっていないものと認識しています。

第2期総合戦略について

【質問】 第2期総合戦略では、新たな視点が盛り込まれているが、策定の重点事項について伺う。

【答弁】 将来、地域を支える人材を育成し、定着させるために、高校

生、短大生にこれまで以上に地域と地域が抱える課題も認識してもらうことが必要であり、次期総合戦略を策定していくうえで、検討の必要があると考えています。

人口減少問題について

【質問】 滝川市人口ビジョンでは、2060年に独自推計で2万7,048人となっている。人口減少に伴う財政の縮小により、今後どのような発想と施策が必要と考えるのか伺う。

【答弁】 各種行政サービスやインフラ整備、地域公共交通の維持など、これまで当たり前に提供されていたものの見直しが余儀なくされるものと考えています。

このため、税収などの歳入に見合った施策の取捨選択が必要になることも想定しておかなければなりません。

一方で、コンパクトシティの形成に向けた取り組みや、コミュニティの強化、地域活性化の核となる人材の育成、公共交通網の再編など、持続的に生活していくことが可能な環境整備に取り組む必要があると考えています。